

国際環境資源情報学特論 22

Mizo ちゃんの考えたこと

日時： 2023年2月7日 10:25-18:35

場所： Zoom オンライン

講義内容：

私は司馬遼太郎のエッセイが好きである。彼のエッセイには、“日本あるいは日本人”について考えるヒントが多い。一昔前には、彼の講演を集めた「司馬遼太郎全講演集」や雑文を集めた「司馬遼太郎が考えたこと」が出版されている。彼が作家として年齢を重ねた時代ごとの考え方の変遷がわかり、とても面白い。別に私は、彼のような立派な著作は残しているわけではないが、今の年齢に至るまでにはやはり、それなりに考え方の変遷がある。

この講義では、私の大学院時代から現在に至るまでの学会講演要旨を題材にして、そのアイデアが生まれたきっかけ、研究の展開、論文作成の苦労話など、その時々エピソードを交えながら説明したい。

第1期	大学院時代（1982-1984）	井の中の蛙 in 東大
第2期	三重大土木助手時代（1985-1987）	学生は良い教師
第3期	同生物資源学部助手時代（1988-1990）	このままで良いのか？
第4期	Purdue 大学時代（1991-1992）	日本のレベルって？
第5期	三重大学助手時代（1993-1995）	環境研究事始
第6期	三重大学助教授時代（1996-1998）	IT とシベリア
第7期	東大助教授時代（1999-2002）	江戸城からみた世界
第8期	内閣府時代（2003-2004）	霞ヶ関のからくり
第9期	再び東大助教授時代（2005-2007）	アジアの中の日本農学
第10期	情報学環教授時代（2008-2009）	情報と農業
第11期	農学国際教授時代（2010-現在）	農業 ICT
第12期	農学国際教授時代（2011-現在）	原発事故と農業再生

資料：

1. 学会講演リスト 230207
2. 還暦わくわくグラフ

【講義のコンテンツ例（予定）】

第4期：Purdue 大学時代（1991-1992）：日本のレベルって？

- ・ FTIR による凍結粘土中の不凍水分量測定
分光学の原理（Beer-Lambert の法則）
- ・ アメリカと日本の違い

第6期：三重大学助教授時代（1995-1998）：IT とシベリア

- ・ 学内 LAN 整備
 - ・ 情報の双方向性
 - ・ フィールド科学の重要性
- チームプレイとプロジェクトの進め方

第7期：東大助教授時代（1999-2002）：江戸城から見た世界

- 江戸の外： 東大に異動になるまでの意識
- ・ 少ない予算枠での基礎実験
 - ・ 環境研究への展開
 - ・ インターネットとの出会い
- シベリア： フィールド研究の目覚め
- ・ 共同プロジェクト研究の重要性
- 江戸の内： 東大に対する期待（異動前）
- ・ 人材育成
 - ・ 分野間の壁を超えた共同研究
- 東大での挫折（異動後）
- ・ 高い研究室間の壁—講座制
 - ・ 集団トロイカ体制—無責任体制
 - ・ ひきこもり
 - ・ 単身赴任（2重生活）の負担
 - ・ That's 用
- 霞ヶ関への出向：
- ・ 文化の違い
 - ・ 東大文化の特殊性

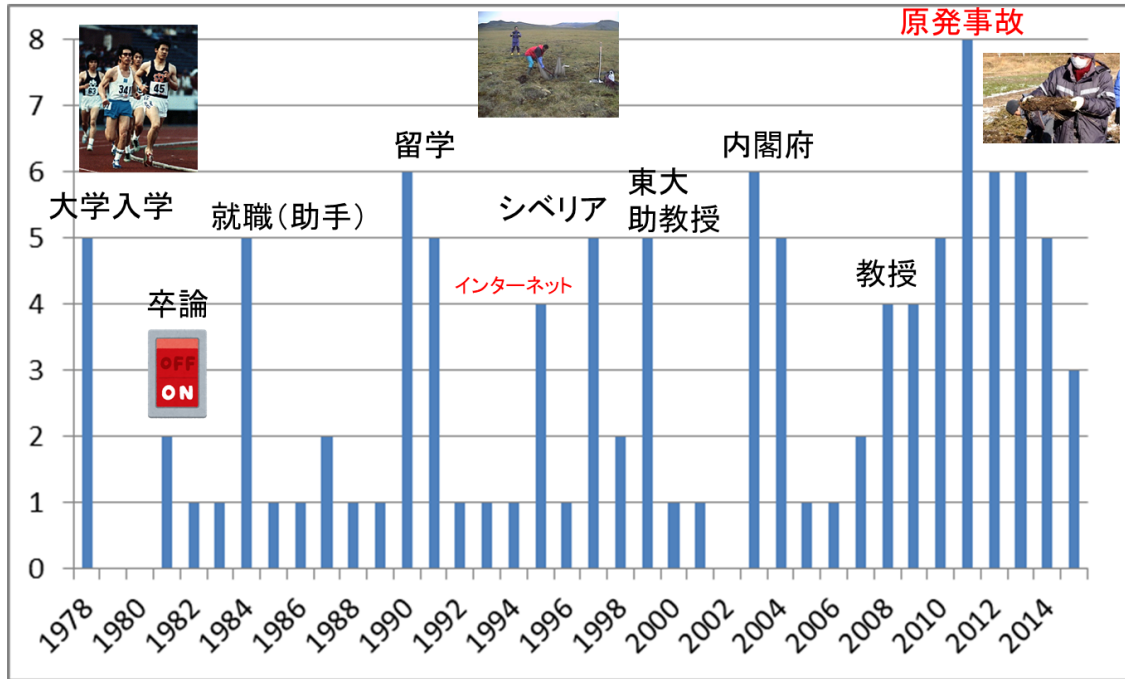


還暦わくわくグラフ(溝口)



人間万事塞翁が馬

学生時代に学問の基礎を築いておく



スイッチON=クリスマスイブの霜柱 <https://www.a.u-tokyo.ac.jp/pr-yayoi/61f6.pdf>